

平成30年度 教員配置表

	文学部				教育学部			生活創造学部		心理相談センター	合計
	国際英語学科	史学科	心理学科	日本文化学科	幼児教育学科	児童教育学科	生活文化学科	観光文化学科			
教授	1 菱田 信彦 2 ウィリアム・キスチャック 3 小山 久美子 4 長島 一比古 5 6 7	高津 純也 金尾 健美 生井澤 幸子 二上 政夫	鵜沼 秀行 橋本(北原)靖子 西川 將巳 田中 裕子 蓮見 元子 松原 由枝子 簀下 成子	学長 熊谷 園子 長崎 靖子 岩崎 利彦	竹内 啓 草信 和世 近藤 千草	松井 洋子 内海崎 貴子 尾見 敦子 田中 孝一 向野 光	藤原 昌樹 今井 久美子 大坂 佳保里 坂口 早苗 高山 啓子 永嶋 久美子 渡邊 昭彦	副学長 西川 誠 戸澤 純子 小堀 貴亮 田中 実子 丹治 朋久 寺本 男行 藤井 信行			
小計	4	4	7	3	3	5	7	7	0	40	
准教授	倉林 直子 篠田(小泉)朝子	辻 浩和 松尾(辻)明日香	桂 瑠以 佐藤 哲康	眞田 尊光 須山(山名)順子	今泉(菅井)洋子 江村 綾野 手塚 崇子 馬場 結子 古屋 朝映子 古山 律子	加藤 美由紀 高橋 裕子 松井 浩子 松本 祐介 矢田 訓子	齋藤 美重子 佐久間 美穂 佐藤 真弓				
小計	2	2	2	2	6	5	3	0	0	22	
講師		中園 有希 橋本 磨美		伊藤 純子 千野 裕子			築館 香澄	種村 聡子			
小計	0	2	0	2	0	0	1	1	0	6	
助教	マクシム・シャハリン										
小計	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
助手					松原 安代		甲山 恵美 戸田 聡子 依田 菜那子		西村 知香		
小計	0	0	0	0	1	0	3	0	1	5	
合計	7	8	9	7	10	10	14	8	1	74	

平成30年度 教員の学位・業績等

文学部 国際英語学科

氏名		職名	最終学歴	保有学位・分野	専門分野①	専門分野②	主たる担当科目①	主たる担当科目②	主たる研究業績等①	主たる研究業績等②	主たる研究業績等③	主たる研究業績等④
菱田 信彦	国際英語	教授	筑波大学大学院博士課程文芸・言語研究科単位取得退学	修士(文学)	イギリス小説	英米児童文学、文学批評理論	国際コミュニケーション(イギリス研修)	イギリス文化史(1)、(2)	「メアリー・ノートの『小人たち』シリーズにおける女性のリテラシー」、『Tinker Bell』(日本イギリス児童文学会)59, 43-56, 2014.	『快談「赤毛のアン」』, 彩流社(フィギュール彩15), 2014.	「アクション・リサーチを活用した高等学校における英語プレゼンテーションの学習」、『川村学園女子大学研究紀要』28(1), 15-31, 2017.	「従順なエルフと抵抗するゴブリン:『ハリー・ポッター』シリーズの魔法種族における価値の逆転」、『東京女子大学比較文化研究所紀要』78, 59-76, 2017.
W・キスチャック	国際英語	教授	法政大学大学院人文科学研究科日本文学専攻	修士(文学)	シーラ・ワトソン研究	能楽研究	卒業研究(パフォーマンス)	EIA, II (English in Action)	シーラ・ワトソン Rough Answerの試訳及びワトソンの年譜, 川村英文学第8号, 2003年3月	シーラ・ワトソン Brother Oedipus—a story—の試訳, 川村英文学第9号, 2004年3月	シーラ・ワトソン研究 The Black Farm—A Modern Allegory—の試訳, 川村学園女子大学研究紀要第16巻第1号, 2005年3月	シーラ・ワトソン研究—短編 Antigoneの試訳—, 川村学園女子大学研究紀要第17巻第1号, 2006年3月
小山 久美子	国際英語	教授	日本女子大学大学院文学研究科英文学専攻博士課程後期単位取得満期退学	文学修士	言語学	英語教育	言語学入門	英語科教育法	「英語における分裂文再考—小説における使用と機能—」、『川村学園女子大学研究紀要』第29巻第1号, 2018年	「There構文の諸相と言語材料としての中学校英語教育における展開」、『川村学園女子大学研究紀要』第28巻第1号, 2017年	「広告における比喩的表現」(単)International Journal of Pragmatics vol. XVI, 2006年	『英語学用語辞典』(共)三省堂, 1998年
長島 一比古	国際英語	教授	青山学院大学大学院文学研究科英米文学専攻	文学修士	イギリス詩(イギリス・ロマン派を中心に)		英文法	インターナショナル・プログラム	「ブレイクの『ティリエル』における無垢と経験対立と否定の関連において」、『川村英文学』第18号 2013	「『アルピオンの娘たちの幻想』における愛と性の解放 対立と否定との関連において」、『川村英文学』第13号 2007	「ブレイクのヴィジョンにおける子どもと喜び 「はじめのうた」における強弱格の用法」、『川村学園女子大学研究紀要』第16巻 第2号 2005	「ウィリアム・ブレイクのゴシック詩 『美しきエリナー』」、『川村英文学』第18号 2018
小泉 朝子	国際英語	准教授	早稲田大学大学院文学研究科博士課程単位取得満期退学	文学修士	イギリス小説・イギリス文化	英語教育	国際文化特講I	国際コミュニケーション特講IV	「オスカー・ワイルドの『ヴェラ』—イギリスと日本における作品受容と社会的背景」(単)『比較文学』44号, 2002年	『エフェクティブリーディング1』(共)成美堂, 2007年	「ホーソーとギャスケル—堕ちた女の表象をめぐって」、『フォーラム』14号, 23-39, 2009年	『デリダと歴史の終わり』(スチュアート・シム著の翻訳(単)), 岩波書店, 2006年
倉林 直子	国際英語	准教授	津田塾大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学	修士(文学), MA (History, University of Virginia)	アメリカ史	日米関係史	アメリカ文化史	国際文化特講II	「日米文化交流をめぐる協調と摩擦 1960年歌舞伎のアメリカ公演を一例として」アメリカ史研究, 第40号, 2017年8月	「ポスト講和期の日米関係と文化—ジョシュア・ローガンの活動を中心に—」津田塾大学紀要 第49号, 2017年3月	「リチャード・ニクソンのイメージ戦略とその効果」津田塾大学紀要 第46号, 2014年3月	「駐留米軍をめぐる政府と議会の関係—ジラード事件への対応を中心に—」麗澤大学紀要 第93巻, 2011年12月
マクシム・シャバリン	国際英語	助教	オックスフォード大学、マートン・カレッジ、東洋研究所	文学博士(D.Phil.)	東洋研究	国際政治学	日本の政治と国際社会(1)(2)	海外から見た日本(1)(2)	第2回ヨーロッパ日本研究ラウンドテーブル「北東アジア安全保障再考」(イギリス、シェフィールド大学)に参加(平成20年3月)	イギリス日本研究協会年次大会(イギリス、マンチェスター)にて口頭発表(平成20年4月)	日本政治学コロキウム年次大会(イギリス、リーズ大学)にて口頭発表(平成20年9月)	ワークショップ「なぜ(いまだに)日本は重要なのか」(イギリス外務・コモンウェルス省およびシェフィールド大学)において、日本とロシアの関係について報告(平成21年4月)

平成30年度 教員の学位・業績等

文学部 史学科

氏名		職名	最終学歴	保有学位・分野	専門分野①	専門分野②	主たる担当科目①	主たる担当科目②	主たる研究業績等①	主たる研究業績等②	主たる研究業績等③	主たる研究業績等④
高津 純也	史学	教授	東京大学大学院人文社会系研究科アジア文化研究専攻修了	博士(文学)	中国古代史	中国思想史, 中国古文字学	アジア史研究入門(1)	アジア古代文明論	『水経注疏訳注(渭水篇)』, 共著, 財団法人東洋文庫, 上巻2008年, 下巻2011年	『『尚書』諸篇の成立に関する一考察—戦国諸国における同時並行的な成書について—』, 単著, 『史学雑誌』第116編11号, 2007年	『地下からの贈り物—新出土資料が語るいにしへの中国—』, 共著, 東方書店, 2014年	『荀子』『禮記』引書再考—楚簡本「緇衣」の出現を踏まえ—』, 単著, 『中國出土資料研究』第16号, 2012年
金尾 健美	史学	教授	パリ第4(ソルボンヌ)大学歴史学研究所 博士課程修了	博士(歴史学)/パリ第4大学	西洋中世史	西洋経済史	西洋史演習(1)	西洋古代・中世史	(学術書) 単著『15世紀ブルゴーニュの財政—財政基盤・通貨政策・管理機構—』, 知泉書館, 2017年	(学術書) 共著『ブルゴーニュ国家の形成と変容—権力・制度・文化—』, 九州大学出版会, 2016年	(学術論文) 単著“La Levée d’ Argent dans le Duché de Bourgogne en 1421 d’ après le compte du Bailliage d’ Auxois” in TOUBERT, Pierre, Dominique BARTHELEMY, Jean-Loup LEMAITRE Ed. « Entre texte et histoire. Etudes d’ histoire médiévale offertes au professeur Shoichi Sato » De Boccard, 2015, pp.157-182.	(学術論文) 2015年, 単著「アンジュー地方ラ・ソーレイ村地代帳の読解—ロブリエール家文書の解明に向けて—」『川村学園女子大学研究紀要』vol.26(2015)No.1 pp.29-53.
生井澤 幸子	史学	教授	お茶の水女子大学大学院人間文化研究科 博士課程単位取得満期退学	理学修士(東京大学)	都市地理学	交通地理学, 経済地理学	地理学概説(都市と自然環境・流通地理学)	地誌学(日本・ドイツ)	(共訳2人) 図説大百科世界の地理, 全22巻, 18. 『南部アフリカ』朝倉書店, 普及版, 2010年	(共編著)『海と空の港大辞典』成山堂, 2011年 (共著)『人文地理学事典』丸善, 2013年	(共著)『拡大EUとニューリージョン』, 原書房, 2012年	(共著)『世界地理講座 中央・北ヨーロッパ』朝倉書店, 2014年
二上 政夫	史学	教授	日本大学文理学部応用地学科	理学博士(1985年, 九州大学)	地質・古生物学	博物館学	古生物学	博物館概論	Revision of Yabeiceras, a Coniacian (Late Cretaceous) ammonite genus, based on material from the type locality in Fukushima, Japan (共著), 2016, Cretaceous Research, Vol. 61 (国際誌)	Early Albian (Early Cretaceous) douvilleiceratid ammonites from Haida Gwaii, British Columbia, Canada (共著), 2016, Journal of Paleontology, Vol. 90, Issue 01 (国際誌)	Two new ammonoid genera of the subfamily Gabbicoceratinae from the Upper Albian (Lower Cretaceous) of Hokkaido, Japan (共著), 2012, Paleontological Research, Vol. 16, No. 3 (日本古生物学会誌)	我が国における学芸員養成の諸問題(単著), 2009, 社会教育, 64巻 (No. 761) 11月号
辻 明日香	史学	准教授	東京大学大学院人文社会系研究科アジア文化研究専攻修了	博士(文学)	西アジア史		アジア史概論(2)	アジア史研究入門(2)	(共著)“Wearing the Blue Turban Again: Christian Reconversions in Mamluk Egypt,” in Katsumi Fukasawa et al. (eds.), Conflict and Reconciliation among Confessions and Religions, London: Routledge, 2017.	(共著)“Preliminary Report on Four saints from the Mamluk period: Hadid, Yuhanna al-Rabban, Barsauma al-Uryan, and ‘Alam,” in Paola Buzi et al. (eds.), Coptic Society, Literature and Religion from Late Antiquity to Modern Times: Proceedings of the Tenth International Congress of Coptic Studies, Rome, September 17th-22nd, Louvain: Peeters, 2016.	『コプト聖人伝にみられる十四世紀エジプト社会』山川歴史モノグラフ, 山川出版社, 2016年。	『11世紀後半—14世紀下エジプトにおけるキリスト教徒集落の消長』『日本中東学会年報』第31-2号(2016年3月)。
辻 浩和	史学	准教授	京都大学大学院人間・環境学研究所 博士後期課程修了	博士・人間・環境学	日本中世史	芸能史	日本史研究入門(2)	日本史概説(1)	『中世の(遊女) 生業と身分』(単著) 京都大学学術出版会, 2017	『知っておきたい歴史の新常識』(共著) 勉誠出版, 2017	『新興芸能の流行と貴族社会への定着過程—歴史的観点から』(『藝史研究』210, 2015)	『室町期芸能史研究の現在』(『歴史評論』767, 2014)
中園 有希	史学	講師	東京大学大学院教育学研究科 博士後期課程単位取得退学	修士(教育学)	教育学	教科書研究	教育方法学	教育課程論	中園有希「デジタル歴史教科書『mBook』の教授学的特徴について」『学習院大学文学部研究年報』, 第63輯, 2017年	中園有希「コラム:ドイツの初等学校の女性化と学力低下をめぐる議論」、浅井幸子ほか編著『教師の声を聴く—教職のジェンダー研究からフェミニズム教育学へ』学文社, 2016年	中園有希「近年のドイツにおける教科書開発の動向—小学校算数教科書の比較から」『学習院大学文学部研究年報』, 第62輯, 2016年	中園有希「ドイツにおける小学校教師の男女比不均衡をめぐる議論の検討」『学習院大学教育学・教育実践論叢』, 第2号, 2015年
橋本 鷹美	史学	講師	筑波大学大学院図書館情報メディア研究科 博士後期課程修了	博士(図書館情報学)	図書館情報学	アメリカ図書館史	図書館概論	図書館制度経営論	アメリカ連邦図書館立法の成立と変遷」(博士論文), 筑波大学, 平成28年	「1990年代前半におけるアメリカ連邦政府の図書館政策の展開—LSCAからLSTAへの改正を中心に—」『日本図書館情報学会誌』日本図書館情報学会, Vol.61, No.1, p. 1-17. 平成27年.	「1996年以降におけるアメリカ連邦政府の図書館政策: 図書館サービス技術法に基づく補助金事業の動向」『日本図書館情報学会誌』日本図書館情報学会, Vol.61, No.4, p. 215-231. 平成27年.	『諸外国の公共図書館に関する調査報告書(平成16年度文部科学省委託事業 図書館の情報化拠点に関する調査研究)』(共著), シー・ディー・アイ, p.150-180. 平成17年



平成30年度 教員の学位・業績等

文学部 心理学科

氏名		職名	最終学歴	保有学位・分野	専門分野①	専門分野②	主たる担当科目①	主たる担当科目②	主たる研究業績等①	主たる研究業績等②	主たる研究業績等③	主たる研究業績等④
鶴沼 秀行	心理	教授	早稲田大学大学院文学研究科心理学専攻博士後期課程(単位取得退学)	博士(教育学)	知覚心理学	認知心理学	心理統計法	基礎実験実習(1)(2)	【著書】対象の認識における情報の時間空間的統合と知覚的表象の形成, 単著, 早稲田大学出版会, 2013	【著書】改訂版はじめての心理統計法, 共著, 東京図書, 2016	【学術論文】Spatiotemporal integration and contour interpolation revealed by a dot localization task with serial presentation paradigm, 共著, Wiley Blackwell 日本心理学会, Japanese Psychological Research, 2010	【学術論文】Facial features in perceived intensity of schematic facial expressions, 共著, Ammons Scientific, Perceptual and Motor Skills, 2010
北原 靖子	心理	教授	お茶の水女子大学大学院人間文化研究科	文学修士	発達心理学	発達臨床	発達心理学特殊講義	生涯発達心理学	(著作)(分担)教育相談—子どもの理解とカウンセリング—, 大学図書出版, 2012	(報告書)(分担)子どもの意思決定能力を育成する支援ツールの開発, 平成26~28年度科学研究費補助金基盤研究(C)報告書, 2017	(論文)(共著)軽度発達障害の思春期支援について考える—二次的障害を予防してゆくために—(2009)川村学園女子大学心理相談センター紀要, 5, 55-68	(プロジェクト研究講演)高齢者支援活動場の環境づくり—コミュニケーションの視点から—(2015)立命館大学人間科学研究所 インクルーシブ社会研究8, 10-39.
西川 将巳	心理	教授	東京大学 医学部 医学科	学士(医学)、学士(文学)	心身医学	脳神経科学、臨床心理学	生理心理学特講(2)(大学院)	臨床心理学	α-[11C] methyl-L tryptophan-PET as a surrogate for interictal cerebral serotonin synthesis in migraine without aura. (共著), Cephalalgia. 34(3):165-73, Mar, 2014	心身相関の生物学的基礎研究領域の進歩, パニック障害の脳内機構. (単著), 「専門医のための精神科臨床リユミール」第27巻, 中山書店, Aug, 2011	Alterations in brain serotonin synthesis in male alcoholics measured using positron emission tomography. (共著), Alcohol Clin Exp Res. 33(2):233-9, Feb, 2009	認知行動療法の脳科学. (単著), 心療内科11: 13-18, 科学評論社, Jan, 2007
岩崎 利彦	心理	教授	順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科スポーツ健康科学専攻博士前期課程 修了	修士(スポーツ健康科学)	スポーツ社会学		スポーツ(2)	キャリアプランニングⅠ キャリアプランニングⅢ(2)				
田中 裕	心理	教授	日本大学大学院文学研究科心理学専攻博士後期課程	博士(心理学)	生理心理学		生理心理学(文学部心理学専攻専攻科目)	生理心理学特講(大学院心理学専攻専攻科目)	Yu TANAKA, Takenobu OHISHI, Etsuko HAYASHI, Rumiko KATO, Hideoki TADA (2013)【共著】Eyeblink as a formative assessment technique for people with profound multiple disabilities Journal of Policy and Practice in Intellectual Disabilities Vol. 10, pp. 174.	田中裕(2009b)学習と条件づけと動機づけ【共著】『社会福祉学習双書』編集委員会(編)社会福祉学習双書2009 第11巻 心理学 第1章 第5節 全国社会福祉協議会出版部 pp.25-29.	田中裕(1999)【単著】覚醒水準と瞬目活動 心理学研究 Vol.70 pp.1-8.	田中裕(2002a)【単著】視覚作業休息下における随意性瞬目の効果 川村学園女子大学研究紀要, 第13巻 第1号 pp.159-168.
蓮見 元子	心理	教授	東京大学大学院教育学研究科教育心理学専門課程博士課程単位取得満期退学	教育学修士	発達心理学	発達臨床心理学	発達心理学概論	心理学演習	【著書】子どもの発達過程と心理臨床, 単著, 宣協社, 2001年4月	【学術論文】放課後子ども教室について児童の声を聴く—タッチパネル式パソコンを使って—2009年3月, 共著, 川村学園女子大学研究紀要	【学術論文】子どもの心理相談事例における見立て—「絵」・「遊び」・「語り」を通して— 2009年3月, 共著, 川村学園女子大学心理相談センター紀要	【著書】教育相談—子どもの理解とカウンセリング—, 共著, 大学図書出版, 2012
松原 由枝	心理	教授	大正大学大学院人間学研究科臨床心理学専攻修士課程(前大正大学カウンセリング研究所カウンセリング技能修士課程)	博士(文学)	臨床心理学	深層心理学、カウンセリング、芸術療法	臨床心理実習(大学院)	臨床心理学特講(大学院)	心のケアのためのカウンセリング大事典(共著)培風館, 2005)	ソンディ・テスト—心理臨床に生かす活用法(単著)培風館, 2009)	カウンセリング心理学(共著)培風館, 2009)	ソンディ・テストマニュアル(千葉テストセンター, 2011)
簗下 成子	心理	教授	筑波大学大学院博士課程医学研究科卒業	博士(医学)	臨床心理学	犯罪心理学	非行・犯罪心理学(学部)	臨床心理面接法特講(大学院)	,1, 編集:小田晋, 編集協力:佐藤親次, 森田展彰, 司法精神医学と精神鑑定, pp.107-146 (第IV章, 精神鑑定における心理テスト), 医学書院, 平成9年 4月,	簗下成子, 小島秀悟, 佐藤親次, 表情認知の精神病理学的研究, 脳の科学, Vol22, 2, pp.177-181, 2000.	簗下成子, 森田展彰, 佐藤親次, 浅井義弘, 統合失調症患者における表情認知と社会適応度の関係—能面テスト(Noh Mask Test)を用いて— 社会精神医学雑誌 12(3)253-261, 2004. (Minoshita S, Morita N, Satoh S, Asai Y. Relationships between facial expression recognition and social adjustment in schizophrenia. -The Noh mask Test as a social skill assessment- Japanese Bulletin of Social Psychiatry 12(3)253-261, 2004.)	Minoshita S, Morita N, Yamashita T, Yoshikawa M, Kikuchi T, Satoh S, Recognition of affect in facial expression using the Noh Mask Test: Comparison of individuals with schizophrenia and normal controls. Psychiatry and Clinical Neurosciences, 59, 1, 2005, pp.4-10.
桂 瑠以	心理	准教授	お茶の水女子大学大学院人間文化研究科	博士(人文科学)	社会心理学	教育心理学	社会心理学概論	コミュニケーション論	【著書】新しい教育相談論, 共著, 武蔵野美術大学出版, 2016	【著書】メディアとパーソナリティ, 共著, ナカニシヤ出版, 2011	【学術論文】ウェブ日記の執筆量が精神的健康に及ぼす影響—媒介効果を検討したパネル調査—, 共著, 応用心理学研究, 40, 177-185., 2014	【学術論文】The effect of mobile phone use on communication between parents and children: A panel study examining causality, 共著, Ochanomizu University Global COE Program English Monograph, Proceedings, 2012
佐藤 哲康	心理	助教	立正大学大学院文学研究科哲学専攻博士後期課程(単位取得満期退学)	修士(文学)	臨床心理学	カウンセリング心理学	青年心理学(学部)	臨床心理基礎演習(大学院)	【単著】小学生の日常生活と心理的適応-宿泊通学参加後に見られた変化-, 川村学園女子大学研究紀要, 第28巻1号, pp.203-209, 2017	【分担】心理統計の基礎, 松原達哉・楳木満生・田上不二夫(編), カウンセリング心理学ハンドブック[実践編], 金子書房, 2011.	【単著】消極的な対人関係を取る大学生へのREBTアプローチを介入に用いたアサーション・ロールプレイング, REBT研究 1巻, pp.29-42, 2010.	【共著】待つ相談室から働きかける機能を包括した学生相談室への展開, 学生相談研究 29号2巻, pp.153-165, 2008.

平成30年度 教員の学位・業績等

文学部 日本文化学科

氏名		職名	最終学歴	保有学位・分野	専門分野①	専門分野②	主たる担当科目①	主たる担当科目②	主たる研究業績等①	主たる研究業績等②	主たる研究業績等③	主たる研究業績等④
熊谷 園子	日本文化	教授	青山学院大学大学院文学研究科	文学修士	イギリスロマン主義	英米詩	国際文化特講(英米詩)		“Mont Blanc”—Shelleyの汎神論的不可知論, 単著, 川村英文学3号, 1998	シェリーとアイルランド—crisisの意識を巡って, 単著, 英語青年, 第140巻7号, 研究社, 1994	ポール・マルドゥーンとの出会い, 単著, 国文社, 1994	パイロンとエルギンマーブルス, 単著, イギリスロマン派研究16号, 1992
長崎 靖子	日本文化	教授	日本女子大学大学院文学研究科日本文学専攻博士後期課程修了	博士(文学)	日本語学	日本語史	日本語学	日本語の歴史	[著書]『断定表現の通時的研究—江戸語から東京語へ—』, 単著, 武蔵野書院, 2012	[著書]『大東急記念文庫所蔵 式亭三馬自筆『雑記』影印と翻刻』, 編著, 武蔵野書院, 2016	『式亭三馬の言語描写—センボウを資料として—』, 単著, 『近代語研究』第20集, 武蔵野書院, 2018	『大学生の漢字力に関する実践報告—国語教育における漢字の指導法へ向けて—』, 単著, 『川村学園女子大学研究紀要』第29巻第1号, 川村学園女子大学図書委員会, 2018
真田 尊光	日本文化	准教授	高野山大学大学院文学研究科密教学専攻博士後期課程修了	高野山大学: 博士(密教学)・修士(密教学)、早稲田大学: 修士(文学)	仏教美術史	日本美術史	日本の美術(1)	日本の美術(2)	『唐招提寺伝衆宝王菩薩立像・伝獅子吼菩薩立像の造立意図』(『佛教藝術』第343号、毎日新聞社、2015年)	『大安寺伝馬頭観音立像の周辺』(『奈良美術研究』17号、早稲田大学奈良美術研究所、2016年)	『千住と美術—松津文淵関連資料もあわせて—』(『文化遺産調査特別展「美と知性の宝庫 足立」図録』、足立区立郷土博物館、2016年)	(共著)『芸術教養シリーズ2 日本の芸術史造形篇Ⅱ 飾りと遊びの豊かなかたち』(藝術学舎、2013年)
山名 順子	日本文化	准教授	お茶の水女子大学大学院博士後期課程人間文化研究科修了	博士(人文科学)	日本文学(近代/近世)	国語科教育	日本文化専門演習Ⅲ(日本近代文学)	国語科教育法Ⅲ、Ⅳ	『国語科における(文部省唱歌)および(伝統的な年中行事)の利用の研究—中学校における実践研究を通じて—』、『子どもを取り巻く家庭・教育・環境をめぐる研究』、川村学園子ども学研究所、2016.01	『山東京伝の読本・合巻における挿絵の変遷—『梅花氷裂』から『磯馴松金糸腰蓑』へ—(剛悪の趣意)を軸として—』、『読本研究新集』、読本研究の会、第8集、2016.07	『文学作品』としての『少年の日の思い出』利用の研究—中学校における実践研究を通じて—』、『人文科教育研究』、人文科教育学会、第43号、2016.09	『中島敦『山月記』を読む—時代をみつめる作者の眼—』(二)、『川村学園女子大学研究紀要』第28巻、川村学園女子大学、2017.03
千野 裕子	日本文化	講師	学習院大学大学院人文科学研究科日本語日本文学専攻 博士後期課程 単位修得退学	博士(日本語日本文学)	中古文学	物語文学	古典文学を読む(1)(2)	日本文学史(1)	『女房たちの王朝物語論』(単著)青土社、2017年	『蜻蛉』『手習』巻の物語世界—女房の名と女郎花の和歌を媒介に—(『日本文学研究ジャーナル』第3号、古典ライブラリー)2017年9月	『狭衣物語』と『源氏物語』夕霧巻—一品宮物語を中心に—(『日本文学』第64巻9号、日本文学協会)2015年10月	『狭衣物語』と陸奥の合戦—飛鳥井女君物語から—(『物語研究』第15号、物語研究会)2015年4月
伊藤 純	日本文化	講師	早稲田大学大学院人間科学研究科博士後期課程 修了	博士(人間科学)	民俗学	文化人類学	日本の祭りと儀礼	日本風俗史	『芸能を媒介とするネットワークの形成と自律的伝承の課題—三宅島神着天王祭を事例として—』(『儀礼文化学会紀要』6、儀礼文化学会、2018年)	『権現舞』『北上・花巻地方の大乗神楽調査報告書 本編』(北上市文化遺産活性化実行委員会編、北上市文化財活性化実行委員会、2018年)	『風流獅子舞文書にみる芸能伝承のダイナミズム—関白流・文挾流獅子舞を事例として—』(伊藤純・藤井絃・山越英嗣編『文化の遠近法—エコ・イマジネールⅡ』、言叢社)2017年	『文化財保護制度・ユネスコ無形文化遺産を通してみる「大日堂舞神楽」—その制度的展開と主体との関係に着目して—』、『民俗芸能研究』60、民俗芸能学会、2016年



平成30年度 教員の学位・業績等

教育学部 幼児教育学科

氏名		職名	最終学歴	保有学位・分野	専門分野①	専門分野②	主たる担当科目①	主たる担当科目②	主たる研究業績等①	主たる研究業績等②	主たる研究業績等③	主たる研究業績等④
竹内 啓	幼児教育	教授	東京芸術大学大学院美術研究科 日本画専攻 修士課程 修了	芸術学修士(美術)	美術	日本画	図画工作	幼児造形指導法	【展覧会】「遺跡の空ー竹内啓展」日本橋高島屋X画廊,東京,2012	【論文】「幼児と造形表現ープラ板を使った表現からー」川村学園女子大学教職センター年報第1号,pp335-346,(2018)	【論文】「幼児造形表現指導におけるフェイスベインティングの試み」川村学園女子大学研究紀要第29巻・第2号,pp83-101,(2018)	【展覧会】「スサノヲの到来ーいのち、いかり、いのり」足利市立美術館ほか, 2014~2015
草信 和世	幼児教育	教授	明星大学大学院人文学研究科教育学専攻	修士(教育学)	児童学	保育学	保育内容人間関係の指導法	保育の方法と技術	【論文】現代における保育者の専門性に関する一考察ー子どもと響き合う保育者の身体知を求めてー,共著,保育学研究第47巻第2号	【論文】「幼児一人一人の理解による教育(保育)方法探求の試み」(単著)川村学園女子大学研究紀要第29巻第2号(2018)	【論文】「ICTを活用した教材作成を通じた学びーアクティブ・ラーニングの試み」(単著)川村学園女子大学センター年報第2号(2018)	【著書】新版児童文化,共著,ななみ書房(2016)
近藤 千草	幼児教育	教授	青山学院大学大学院文学研究科 教育学専攻 修了	教育学修士	教育学	幼児教育学	保育原理	保育内容健康の指導法	【論文】「保育者養成における「ひと・もの・こと」に出会う体験型学習プログラムに関する実証的研究ープログラムを通じたメタ認知の形成に向けてー」(単著)保育士養成研究,第31号,(2014)	【論文】「近年における保育・幼児教育の研究動向について」(単著)日本教師教育学会課題研究I 研究報告 第一集(2016)	【著書】『教科・領域の指導法に関する研究ー教員養成のためにー』幼児教育における「健康」の指導法(共著),川村学園女子大学大学院人文学研究科教育学専攻教員養成研究会,(2015)	【論文】「幼児期における遊びを通じた指導法に関する一考察ーシュタイナー幼児教育施設での取り組みを事例としてー」(単著),子ども学年報第二巻第一号,(2017)
江村 綾野	幼児教育	准教授	お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科博士後期課程単位取得満期退学	修士(人文科学)	保育・幼児教育	子育て支援	乳児保育	幼児理解の理論と方法	江村綾野(2018) 幼児の生活とそれに伴う母親の心情: 幼児理解のための家族システム論に基づく検討 川村学園女子大学研究紀要, 29(2), 103-115	江村綾野(2018) 幼稚園・保育所・こども園における保育者の幼児理解: 保育者としての幼児理解を深めるために 教職センター年報, 1, 21-29	江村綾野(2018) 乳児保育における保育者の視点に関する一考察 教職センター年報, 2, 83-89	江村綾野(2016) 現代社会と子育て, 子育て 太田光洋編著 保育・教育相談支援, 建帛社, 1-9
菅井 洋子	幼児教育	准教授	日本女子大学大学院人間生活学研究科人間発達学専攻博士課程後期修了	博士(学術)	発達心理学	保育学	発達心理学	保育内容言葉の指導法	【著書】菅井洋子,2012,単著,乳幼児期の絵本場面における共同活動に関する発達研究: 共同注意の指さしからの探究,風間書房	菅井洋子, 2018, 共著, 第2部 子どもの言葉をはぐくむ保育 第5章 保育環境と言葉, 「乳幼児教育保育シリーズ 保育内容言葉」, 光生館	【論文】菅井洋子, 2016, 単著, 乳児保育における乳児と保育士の関係: 絵本の読みあいに参加する乳児と保育士の分析から, 川村学園女子大学子ども学研究年報, 1(1), 57-65	【論文】菅井洋子・秋田喜代美・横山真貴子・野澤祥子, 2010, 共著, 乳児期の絵本場面における母子の共同注意の指さしをめぐる発達的变化: 積木場面との比較による縦断研究, 発達心理学研究, 21, 46-57
手塚 崇子	幼児教育	准教授	専修大学大学院経済学研究科博士後期課程単位取得満期退学	博士(経済学)	保育制度・政策・行財政	社会保障(子ども)・地方財政	児童家庭福祉	保育実習(施設)	【著書】手塚崇子(2014)「幼保一体化施設の運営と行財政ー就学前教育・保育の一元化をめぐるー」(単著)専修大学出版局	【論文】手塚崇子(2016)「社会連帯における子育て支援の役割機能ー幼稚園・保育所・認定こども園の役割機能」(単著)(『公募研究シリーズ 52』全労済協会)	【論文】手塚崇子(2010)「過疎地における幼保一体化施設の財政分析ー和歌山県白浜町「幼保一元化施設白浜幼児園」を事例としてー」(単著)(『保育学研究』第48巻第2号, 119-130頁)	【論文】手塚崇子(2010)「旧公立幼稚園と幼保一体化施設の財政比較ー群馬県六合村「六合こども園」を事例としてー」(単著)(『乳幼児教育学』第19号, 日本乳幼児教育学会, 121~132頁)
馬場 結子	幼児教育	准教授	大阪大学大学院人間科学研究科教育学専攻博士後期課程単位取得退学	修士(文学) 修士(人間科学)	教育学	児童文化学	教育原理	保育内容環境の指導法	【著書】『保育原理』(共著)一藝社, 2016年	【著書】『保育内容総論』(共著)一藝社, 2017年	【著書】『教育・保育課程論』(共著)一藝社, 2017年	【著書】『環境』(共著)一藝社, 2018年
古屋 朝映子	幼児教育	准教授	筑波大学大学院一貫制博士課程人間総合科学研究科スポーツ医学専攻(修士取得退学)	修士(スポーツ医学)	コーチング学	体操コーチング論	体育I・II	幼児体育指導法I・II	【論文】「幼児の主體的な運動活動を支える指導者の役割ー保育所における体操教室からの一考察ー」(共著・筆頭)(『体操研究』13巻, 日本体操学会, pp.11-19)(2017)	【論文】「乳幼児を持つ母親における子どもの運動遊びに関する危険認識についての一考察」(単著)(『川村学園女子大学研究紀要』28巻2号, 川村学園女子大学, pp. 37-48)(2017)	【論文】「震災避難者の語りからみる体操教室参加の意味づけー福島県双葉町から茨城県つくば市への避難者の事例からー」(共著・筆頭)(『コーチング学研究』29巻2号, 日本コーチング学会, pp. 139-148)(2016)	【論文】「幼児の自発的な動きを引き出す用具に関する事例研究ー使用方法を示さない遊具「ピリボ」に着目してー」(共著・筆頭)(『体操研究』11巻, 日本体操学会, pp. 1-9)(2014)
江村 綾野	幼児教育	講師	お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科	修士(人文科学)	子育て支援実践研究	保育・幼児教育	保育実習・保育実習演習	保育内容演習	江村綾野(2016) 現代社会と子育て, 子育て 太田光洋編著 保育・教育相談支援, 建帛社, 1-9	江村綾野(2015) 3歳未満の子どもを育てる専業主婦の罪障感が対児感情に及ぼす影響, 人間文化創成科学研究科論叢, 17, 121-131	江村綾野・鈴木幸子(2015) キリスト教主義の保育園における保育士の役割と宗教意識の関連, キリスト教教育論集, 23, 55-63	江村綾野(2013) 子ども, 家族と保育者, お茶の水ヒューマンライフシステム研究会編, 家族と生活: これからの時代を生きる人へ, 創成社, 95-104
古山 律子	幼児教育	准教授	日本女子大学大学院人間生活学研究科人間発達学専攻博士課程後期中退	修士(家政学) 学士(音楽)	幼児音楽教育	保育者養成教育	音楽I・II	幼児音楽指導法(1)(4)	『幼稚園のための指導書音楽リズム』(昭和28年文部省)に関する一考察(単著), 千葉明德短期大学研究紀要 第38号, pp77-87, 2018	「保育室の音環境に関する保育者の意識」(単著), 千葉明德短期大学研究紀要 第37号, pp165-171, 2017	「小林宗作の幼児教育思想と保育者養成観ー厚生保母養成所時代(1942-1953)を中心にー」(単著), 千葉明德短期大学研究紀要 第37号, pp155-163, 2017	「幼児の創造的な音楽活動の開発に関する研究Ⅶーわらべうたの音構造をもとにした音楽活動の分析・考察を通してー」(共著・筆頭), 日本女子大学大学院紀要家政学研究科・人間生活学研究科 第18号, pp. 11-19, 2012



平成30年度 教員の学位・業績等

教育学部 児童教育学科

氏名		職名	最終学歴	保有学位・分野	専門分野①	専門分野②	主たる担当科目①	主たる担当科目②	主たる研究業績等①	主たる研究業績等②	主たる研究業績等③	主たる研究業績等④
松井 洋	児童教育	教授	青山学院大学大学院文学研究科心理学専攻修士課程	文学修士	社会心理学	教育心理学	教育心理学	心理学概論	【共著】教育心理学 三恵社 2018	【共編著】新・社会心理学の基礎を学ぶ, 八千代出版 2014	【共編著】新・心理学の基礎を学ぶ, 八千代出版 2013	【共著】教授法に対する学習者の選好と学校適応 川村学園女子大学研究紀要, 第28巻2号85-95, 2018
内海崎 貴子	児童教育	教授	上智大学大学院文学研究科教育学専攻博士後期課程単位取得満期退学	文学修士	教育学(人権教育/ジェンダー平等教育)	女性学	教育原理	女性学	【著書】『迷惑なひと・ことは教育の救世主―事例から学ぶ教育の方法論』共著, あいり出版, 2013年	【著書】『新・教職入門』共著, 学文社, 2014年	【著書】『教職のための教育原理』編著, 八千代出版, 2015年	【著書】『教職のための道徳教育』編著, 八千代出版, 2017年
尾見 敦子	児童教育	教授	お茶の水女子大学大学院博士課程人間文化研究科単位取得満期退学	教育学修士	音楽教育学	幼児教育	音楽科教育法	音楽	尾見敦子(2017) ハンガリーの幼稚園・小学校の音楽教育における伝承の歌遊びの意義, 川村学園女子大学研究紀要, 第28巻, 第2号, 67-84.	尾見敦子(2015) 諸外国に見る音楽教育における「幼小接続」―フィンランドとハンガリーの事例から―, 川村学園女子大学研究紀要, 第26巻, 第2号, 43-62.	尾見敦子(2013) コダーイ・コンセプトに基づく音楽非専攻学生のためのアカペラ合唱の教育実践, 川村学園女子大学研究紀要, 第24巻, 第2号, 15-31.	尾見敦子(2012) なぜ音楽の授業で読譜力が養われないのか―ハンガリーの音楽教科書が語るもの―, 音楽教育実践ジャーナル, vol.9, no.2, 56-66.
田中 孝一	児童教育	教授	兵庫教育大学大学院学校教育研究科教科・領域教育専攻言語系コース	修士・学校教育学	国語科教育学	教育課程論	国語科教育法	国語	【単著】『国際社会が求めるこれからの能力』『アクティブ・ラーニングを取り入れた授業づくり 高校国語の授業改革』共著 明治書院 pp.10-16, 2016年	【単著】『2030年の社会を生きるための資質・能力―生涯学習, 教育課程, 言語能力―』『これからの時代に求められる資質・能力の育成とは アクティブな学びを通して』共著 東洋館出版社 pp.15-18, 2016年	【著書】『新評価規準を生かす授業づくり 小学校編』編共著 ぎょうせい 2011年	【単著】『新教育課程の軸となる言語能力の育成と言語活動の充実』『新教育課程とこれからの研究・研修』共著 ぎょうせい pp.49-59, 2017年.
向野 光	児童教育	教授	千葉大学教育学部	教育学士	特別支援教育	キャリア教育	特別支援教育論	進路指導	高等特別支援学校における生徒指導に就いての一考察 川村学園女子大学子ども学研究年報』第2巻第1号	特別支援学校における職業教育についての一考察(千葉県における作業学習の編成を通して) 『川村学園女子大学研究紀要』第29巻第2号	教職課程履修者の教育実習に対する不安に関する一考察 『川村学園女子大学教職センター年報』第1号	これからの障害者の雇用について 『運輸と経済』第78巻 第9号
高橋 裕子	児童教育	准教授	京都造形芸術大学大学院芸術研究科芸術環境専攻修士課程	芸術修士	生活造形	被服構成	クラフト	生活の美学	「大学の教科書にみる被服学の変遷」単著, 川村学園女子大学研究紀要, 第29巻, 第2号, 187-200頁	「中学・高校の家庭科教育における被服学の現況と課題」単著, 川村学園女子大学教職センター年報, 第1号, 243-255頁	日本伝統手工芸 第16回 巧技ソサエティー美術展 <奏炎> 東京都議会議長賞受賞	「巧の技・極みの煌めき」共著, (株)美術年鑑社発行
矢田 訓子	児童教育	准教授	東北大学大学院教育学研究科 博士課程満期退学	修士(教育学)	教育思想史	教育哲学	教育原理	道徳科指導法	【著書】『教師のための教育学シリーズ2 教育の哲学・歴史』共著, 学文社, 2017.	【著作】『ワークで学ぶ教育課程論』共著, ナカニシヤ出版, 2018.	「小学校の道徳教育におけるカリキュラム・マネジメントを見据えた指導及び指導案の検討―小学校高学年『A(1)善悪の判断, 自律, 自由と責任』の授業を中心に―」『川村学園大学研究紀要』第29巻第2号, 2018.	「相補的人間関係における教育の可能性―西洋における宗教生活の取り戻しの歴史―」『近代教育フォーラム』, 第19号, 教育思想学会, 2010.
松井 浩	児童教育	准教授	青山学院大学大学院理工学研究科経営工学専攻博士前期課程修了	工学修士, 工学士	情報科学	ネットワーク利用技術	情報処理(1)(2)	情報メディア演習	【著書】『MS-WORKS機能百科』単著, 技術評論社	【著書】『MS-DOSテキストデータ処理』共著, 翔泳社	【著書】『PC-98全生活の知恵』共著, 翔泳社	【論文】計量経済分析用アプリケーションTSPのインストール, 単著, 青山コンピュータサイエンス, 青山学院大学情報科学研究センター
加藤 美由紀	児童教育	准教授	日本女子大学大学院人間社会研究科教育学専攻博士課程後期単位取得退学	博士(教育学)	理科教育学	環境教育	理科	理科教育法	加藤美由紀(2015)「高等学校生物教科書に見られる自然保護から生物多様性保全への変遷」『生物教育』56(3), pp.94-110	加藤美由紀(2015)「中学校学習指導要領に見る保全教育の変遷と課題」『環境教育』25(1)pp.119-131	加藤美由紀(2017)『「多様性と共通性」の視点から捉える「生命」領域の学習への期待』『理科の教育』Vol.66, pp.19-22	加藤美由紀(2018)「校内の植物図鑑の作製とその活用について―小学校における生物多様性保全の学習と指導に関連して―」『人間研究』第54号, pp.43-52
松本 祐介	児童教育	講師	筑波大学大学院博士後期課程体育科学専攻単位取得退学	修士(教育学)	体育科教育学	スポーツ教育学	体育科教育法	健康スポーツ論	小学校低学年の体育授業における捕球技能の習得―捕球動作の選択の学習とその効果―, (2013)スポーツ教育学研究, 33(2):1-13.	小学校低学年における捕球技能向上のための学習プログラムの開発―動作の選択と体幹の移動に着目して―, (2010)日本スポーツ教育学会第30回記念大会プロシーディングス, pp.132-138.	Development of an assessment rubric for catching skill of the ball coming to the front of the body. (2012)North East Asia Sport Pedagogy Conference (国立台湾師範大学)	小学校低学年における捕球動作の学習必要性―学習の有無による捕球動作の相違から―, (2015)川村学園女子大学研究紀要, 26(2):63-80







平成30年度 教員の学位・業績等

生活創造学部 観光文化学科

氏名		職名	最終学歴	保有学位・分野	専門分野①	専門分野②	主たる担当科目①	主たる担当科目②	主たる研究業績等①	主たる研究業績等②	主たる研究業績等③	主たる研究業績等④
西川 誠	観光文化	教授	東京大学大学院人文科学研究科博士課程中退	文学修士	日本近代史	日本政治史	日本史概説(2)	日本史(1)	『日本政治史の新天地』(共著)(吉田書店, 2013年)	『史料を読み解く4 幕末維新の政治と社会』(共著)(山川出版社, 2009年)	『日本立憲政治の形成と変質』(共編著)(吉川弘文館, 2005年)	『山縣有朋関係文書』全3巻(共編)(山川出版社, 2004~2007年)
戸澤 純子	観光文化	教授	日本大学大学院文学研究科心理学専攻博士後期課程	博士(心理学)	知覚心理学		心理学	情報処理	ポテンシャル知覚心理学(共著)(サイエンス社) 2017年	認定心理士資格委員会(編) 実験・実習で学ぶ心理学の基礎(共著)(金子書房) 2015年	教育心理学(共著)(弘文堂)2014年	心理学概説(共著)(啓明出版) 2014年
田中 実	観光文化	教授	インディアナ大学大学院応用言語学科	文学修士(英語学)	応用言語学	認知意味論・言語学	観光英語VI	観光英語IV	“A Persistent Role of Learners' L1-Knowledge in the Acquisition of Lexical Terms of a Second Language”(『英語展望』(ELEC Bulletin) 1992年春号(No.98)(1991年度 ELEC賞 B部門(英語教育及び英語教授法に関する研究論文) 受賞論文)	「Anyのコア的意味」(2010)川村学園女子大学研究紀要 第21巻第2号	『応用言語学事典』編集コーディネーター・原稿執筆 研究社 2003	『Eグレイ英和辞典』原稿執筆 ベネッセ・コーポレーション 2003
丹治 朋子	観光文化	教授	立教大学大学院観光学研究科観光学専攻博士課程後期課程	修士(社会学)	ホスピタリティ・マネジメント	観光学	ホテル・マネジメント	外食産業論	『観光経営学』(共著)朝倉書店	『観光まちづくりのマーケティング』(共著)学芸出版	『観光学入門』(共著)有斐閣	『新・大江戸東京の歩き方—東京シティガイド検定公式テキスト』(共著)ダイヤモンド社
寺本 久男	観光文化	教授	上智大学文学部新聞学科	学士(ジャーナリズム)	航空事業論		航空事業論	顧客サービス論				
藤井 信行	観光文化	教授	日本大学大学院文学研究科博士後期課程(歴史学専攻)満期退学	文学修士, MA(イリノイ大学)	観光歴史学	19世紀・20世紀ヨーロッパ国際関係史	観光歴史学	世界史	『ヨーロッパの古城と宮殿』(単著)(新人物往来社, 2012年)	『日英同盟協約交渉とイギリス外交政策』(単著)(春風社, 2006年)	『歴史遺産と『観光歴史学』』(『総合観光研究』第12号, 2013年)	『歴史遺産としての記録と記憶の保存』(『復興ツーリズム:観光学からのメッセージ』所収, 同文館出版, 2013年)
小堀 貴亮	観光文化	教授	千葉大学大学院教育学研究科社会科教育専攻修士課程	博士(学術)	観光地理学	温泉観光学	観光文化総論	地理学概論	「地誌教育の方法と実践に関する一考察」『川村学園女子大学研究紀要』第29巻、第3号、2018年3月	「タイ北部・メーホンソン県パーイ郡における温泉観光開発」(共著)『温泉地域研究』第30号、日本温泉地域学会、2018年3月	『観光地理学—観光地域の形成と課題—』(山村順次編)(共著)同文館出版、2012年10月	『図説 新・日本地理—自然環境と地域変容—』(山村順次編)(共著)原書房、2008年4月
種村 聡子	観光文化	講師	立教大学大学院ビジネスデザイン研究科 修了	修士(経営管理学)	人的資源管理	人材育成	キャリア・プランニングⅢ	観光経営	『ケーススタディ 地域活性化の理論と現実』, 2017, 同文館出版, pp.86-133.	「地域人材としての観光人材育成プログラムの検討—いしかわ観光創造塾の事例—」, 『第32回日本観光研究学会 全国大会 学術論文集』, 2016, pp.457-470.	「観光地域における人材育成プログラムの検討—いしかわ観光創造塾の事例—」, 『第32回日本観光研究学会 全国大会 学術論文集』, 2017, pp. 317-320.	「越境学習における効果—武蔵大学三学部横断型ゼミナール・プロジェクトの事例—」, 『人材育成学会 第15回年次大会論文集』, 2017, pp. 33-38.